

平成 21 年度科学技術振興調整費の評価について

平成 21 年 12 月
文 部 科 学 省
科学技術・学術政策局

1. 評価の実施方法

- (1) 評価対象課題等の専門分野・領域等を勘案して、当該分野・領域の専門家及び有識者から構成される 14 の評価作業部会を設置し、①中間評価（平成 19 年度にスタートしたプログラムの課題）及び②平成 20 年度に終了した課題の事後評価を実施した。
- (2) 具体的には、「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」、「女性研究者支援モデル育成」、「地域再生人材創出拠点の形成」、「戦略的研究拠点育成」、「アジア科学技術協力の戦略的推進（地域共通課題解決型国際共同研究）」、「新興分野人材養成」、「重要課題解決型研究の推進」及び「科学技術連携施策群の効率的・効率的な推進」の 8 プログラムにより実施した課題（中間評価 24 課題、事後評価 54 課題の計 78 課題）について、書面評価・ヒアリング評価を行う等、調査・検討を行った。
- (3) また、追跡評価として、「先導的研究等の推進」（平成 13 年度～平成 17 年度に行われた 45 課題）について対象とし実施した。

2. 中間・事後評価の結果概要

プログラム名	中間評価					事後評価				
	総数	総合評価				総数	総合評価			
		A評価	B評価	C評価	D評価		A評価	B評価	C評価	D評価
若手研究者の自立的な研究環境整備促進	12	2	8	2	0	—	—	—	—	—
女性研究者支援モデル育成	—	—	—	—	—	10	1	8	1	0
地域再生人材創出拠点の形成	12	2	9	1	0	—	—	—	—	—
戦略的研究拠点育成	—	—	—	—	—	3	2	1	0	0
アジア科学技術協力の戦略的推進 （地域共通課題解決型国際共同研究）	—	—	—	—	—	10	0	10	0	0
新興分野人材養成	—	—	—	—	—	17	3	12	2	0
重要課題解決型研究の推進	—	—	—	—	—	6	1	5	0	0

評価結果概要

1 プログラム毎の評価結果の概要を以下に述べる。また、下記標記中の評価項目の内容については次のとおり。

なお、本年度の評価基準については、次のとおり。

- 【総合評価】
- A. 所期の計画以上の取組が行われている
 - B. 所期の計画と同等の取組が行われている
 - C. 所期の計画以下の取組であるが、一部で当初計画と同等又はそれ以上の取組もみられる
 - D. 総じて所期の計画以下の取組である

(1) 若手研究者の自立的研究環境整備促進

平成21年度に3年目を迎える12課題について中間評価を実施した。このうち2課題は所期の計画以上の取組が行われている、8課題については所期の計画と同等の取組が行われていると評価された。残りの2課題については、システム改革が適切ではなく、実施期間終了後の継続性がやや期待できないことなどから、総合評価は「C」と判断された。

(参考)

◇制度概要： 若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、世界的研究拠点を目指す研究機関において、テニユア・トラック制（若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組みをいう。以下同じ。）に基づき、若手研究者に競争的環境の中で自立性と活躍の機会を与える仕組の導入を図る。

◇充 当 額： 1課題当たり2億5千万円／年

◇実施期間： 原則5年間（3年目に中間評価を実施）

総合評価	A	B	C	D	課題数合計
中間評価	2	8	2	0	12

(2) 女性研究者支援モデル育成

平成21年度に支援を終了した10課題について事後評価を実施した。このうち1課題は所期の計画以上の取組が行われている、8課題については所期の計画と同等の取組が行われていると評価された。残りの1課題については、全学的な取組がなされていないことなどから、総合評価は「C」と判断された

(参考)

4. 評価結果一覧

(中略)

女性研究者支援モデル育成(事後評価)

評価作業部会	課題名	代表者	機関名	総合評価	I 目標達成度	II 取組の成果	III 取組の妥当性・効率性	IV 波及効果	V 実施体制の妥当性	VI 実施期間終了後における取組の継続性・発展性
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	輝け、女性研究者！活かす・育てる・支えるプラン in 北大	佐伯 浩	北海道大学	B	b	a	a	a	b	a
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	研究者養成のための男女平等プラン	白井 克彦	早稲田大学	C	c	c	c	c	c	b
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	生涯にわたる女性研究者共助システムの構築	野口 誠之	奈良女子大学	B	b	b	a	a	b	a
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築	羽入 佐和子	お茶の水女子大学	B	c	a	b	a	a	b
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	女性研究者の包括的支援「京都大学モデル」	松本 結	京都大学	B	b	a	b	b	b	b
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	女性研究者マルチキャリアパス支援モデル	蟻川 芳子	日本女子大学	B	a	a	a	a	b	b
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	地域連携によるキャリアパス環境整備	谷口 功	熊本大学	B	b	b	a	a	b	a
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	保育とワークシェアによる女性医学研究者支援	宮崎 俊一	東京女子医科大学	B	b	b	a	b	b	b
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	社の都女性科学者ハードリング支援事業	井上 明久	東北大学	B	b	a	a	a	a	a
女性研究者支援モデル育成評価作業部会	理系女性のエンパワーメントプログラム	小畑 秀文	東京農工大学	A	a	a	a	a	b	a

(中略)

平成 21 年度中間・事後評価の実施経緯

各評価作業部会の開催経緯は以下のとおり

評価作業部会	第 1 回評価作業部会開催	開催日	第 2 回評価作業部会開催	開催日
若手研究者の自立的 研究環境整備促進 評価作業部会	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/5	・若手研究者の自立的な研究環境整備促進 12 課題 (中間) ヒアリングの実施	10/19
女性研究者支援モ デル育成評価作業 部会	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	9/30	・女性研究者支援モデル育成 10 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/27
地域再生人材創出 拠点形成評価作業 部会	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	9/18	・地域再生人材創出拠点の形成 12 課題 (中間) ヒアリングの実施	10/9
国際共同研究推進 評価作業部会	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	9/28	・アジア科学技術協力の戦略的推進 10 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/19
情報・社会基盤系 人材養成評価作業 部会	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/6	・新興分野人材養成 9 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/27
ライフ系人材養成 評価作業部会	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	9/16	・新興分野人材養成 8 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/14
感染症研究評価作 業部会*	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/5	・重要課題解決型研究等の推進 1 課題 (事後) ・科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 1 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/5
情報通信研究評価 作業部会*	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	9/18	・重要課題解決型研究等の推進 4 課題 (事後) ヒアリングの実施	9/18
国際テロ犯罪研究 評価作業部会*	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/29	・重要課題解決型研究等の推進 1 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/29
ユビキタスネット ワーク研究評価作 業部会*	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/1	・科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 1 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/1
次世代ロボット研 究評価作業部会*	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/9	・科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 2 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/9
バイオマス利活用 研究評価作業部会 ※	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	10/7	・科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 1 課題 (事後) ヒアリングの実施	10/7
ナノバイオテクノ ロジー研究評価作 業部会*	評価の進め方等についての確認、 評価留意点等についての説明	9/28	・科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 3 課題 (事後) ヒアリングの実施	9/28

※「感染症研究評価作業部会」、「情報通信研究評価作業部会」、「国際テロ犯罪研究評価作業部会」、「ユビキタスネットワーク研究評価作業部会」、「次世代ロボット研究評価作業部会」、「バイオマス利活用研究評価作業部会」及び「ナノバイオテクノロジー研究評価作業部会」については、各作業部会に割り当てられた課題数が少ないため、第1回、第2回作業部会をあわせて1日で実施した。

評価作業部会		
戦略的研究拠点育成評価作業部会	10 / 22	10 / 23
	・戦略的研究拠点育成 3 課題（事後） ヒアリングの実施	事後評価結果議論 北海道大学フォローアップ